



2025年度 PGS中部日本ダブルス選手権競技
決勝大会 スタート組合せ表

2025年11月13日（木）

参加者：＜ミックスダブルスの部＞7チーム14名

OUTコース		選 手 名		選 手 名	
No.	スタート時間	参加カテゴリー / チーム名		参加カテゴリー / チーム名	
1	8 : 00	稲垣 康治	稲垣 美也	谷井 清秀	戸谷 靖子
		『 みやちゃんズ 』		『 チョッパー 』	
2	8 : 07	南川 史雄	上中 啓子	池本 茂次	大川 陽子
		『 ヒヨコ 』		『 おとめき 』	
3	8 : 15	柳 正和	下野 久美子	小山 恭弘	則武 たまき
		『 ハクナ・マタタ 』		『 BLUE MOON 』	
4	8:22	東 恭平	安田 望愛		
		『 ほっぺた 』			

- 都合により欠場する場合は、必ず大会事務局 伊深の森カントリークラブ (0574)-29-1891 まで連絡をお願いします。
- 欠席等の都合により、組合せ・スタート時間を変更する場合があります。



2025年度 PGS 中部日本ミックスダブルス選手権競技 決勝大会

開催日 : 2025 年 11 月 13 日(木)

開催コース : 伊深の森カントリークラブ

〒505-0008 岐阜県美濃加茂市伊深町2345 TEL0574-29-1891

ご 案 内

1. クラブハウス、練習場、レストランは6時30分よりオープンする。
2. 表彰順位は、当日掲示する(参加チーム数により変動あり)。表彰式は行わない。
3. 組合せおよびスタート時間は別紙の通りとする。欠席者があつた場合は変更することがある。
4. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあげないように注意すること。
5. 練習は指定練習場で行い、打球練習場(アイアン専用)では備付けの球を使用し1コイン(30球)を限度とする。
6. 使用ティーマーク
一般の部:白マーク / シニアの部:緑マーク / 女子の部:赤マーク
7. 当日のプレー費
9,480 円(昼食+3ドリンク付) 別途競技参加費4,400 円/人
満70歳以上の方は、ゴルフ場利用税を免除することができます。必ず年齢の確認できる身分証明書(免許証等)をご持参ください。受付の際、フロントにて身分証明書のご提示がない場合、利用税は免除されません。
9. 練習ラウンド
指定練習日は設けておりません。練習ラウンドを希望される場合、お電話にて当クラブへ直接お申込みください。
なお、ご予約の際は必ず“練習ラウンドでのプレー希望”の旨を申し伝えてください。

◆個人情報保護法関連事項(予選・決勝共通)

参加者は、参加申込みに際し、本競技により、日本パブリックゴルフ協会が取得する参加申込者の個人情報を次の目的の範囲内で他に提供(公表)することについて、予め同意したものとみなします。

- (1)本競技の参加資格の審査。
- (2)本競技の開催及び運営に関する業務。これには、①参加者に対する競技関係書類(組合せ表等)の発送・掲載、②本競技の開催に際し、本競技関係者(報道関係者を含む)に対する参加者の氏名、生年月日、所属(倶楽部名、学生の場合、学校名及び学年)、その他選手紹介情報ならびに本競技の競技結果の公表を含む。
- (3)この申込書による参加者の個人情報と、本競技における競技結果の記録の保存、並びに本競技終了後において必要に応じ、そのうち上記(2)②記載の公表事項の適宜の方法による公表。
- (4) PGS ニュース、翌年の競技参加案内・他団体の競技案内やダイレクトメール等の印刷物およびメールマガジン(希望者)の送付。

肖像権に関する同意内容(予選・決勝共通)

競技参加者は、参加申込みに際し、主催競技(競技会場における競技に伴う前後の行事等を含む)に関して、その中

継・再映・報道・広報のため、あるいは日本パブリックゴルフ協会の目的に反しない範囲で利用するために、写真・テレビ・その他の各種記録媒体による収録物、複製物あるいは編集物(適正範囲の編集に限る)にかかる競技参加者の肖像権(収録物等にかかる競技参加者の氏名・肖像を展示・通信・放送・上映により一般に公開し、あるいは貸与し、頒布するなどして他に提供する権利)を日本パブリックゴルフ協会に譲渡することを、予め承諾されたものとさせていただきます。

◆距離表

Hole.No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	
一般(白マーク)	506	321	395	290	491	156	319	166	392	3,036	
シニア男子(緑マーク)	496	301	363	278	466	145	288	150	359	2,846	
女性(赤マーク)	454	301	296	278	466	145	264	150	305	2,659	
Par	5	4	4	4	5	3	4	3	4	36	
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	Total
	300	167	349	403	285	137	524	324	485	2974	6,010
	290	139	327	392	274	121	502	314	464	2823	5,669
	290	139	327	335	274	120	400	314	408	2607	5,266
	4	3	4	4	4	3	5	4	5	36	72

2025年度日本パブリックゴルフ協会主催競技には R&A と USGA が制定したゴルフ規則と以下のローカルルールと競技会場で追加または修正したローカルルールが適用されます。

下記に参照するローカルルールの全文については2023年発効の「ゴルフ規則のオフィシャルガイド」を参照すること（www.jga.or.jp で閲覧可）。

別途規定されている場合、または適用規則が明示されている場合を除き、ローカルルールの違反の罰は：一般の罰（2 罰打）

競技方法・条件・規則

1. 2 人 1 組のチーム戦とし、18 ホールズフォアボールストロークプレーによって行う。
2. チーム内のパートナーが欠場した場合、1 人でのプレーを認め、そのスコアを採用する。また、出場していたパートナーが途中棄権した場合も、棄権した以降のホールを 1 人でプレーし、そのスコアを採用しチームスコアとする。また欠場していたパートナーの途中出場を認める。但し欠場していたパートナーは、プレー中のホールとホールの間で自分のパートナーに加わることができるが、プレー中のホールの間はプレーに加わってはならない。この違反は 2 打の罰を付加する。
3. それぞれ各自の球をプレーし、2 人のうちどちらか少ない方のスコアをそのホールのスコアとする。（パートナーの 1 人が 1 ホールのプレーを終えなくても罰はない）
4. ティショットはスタートホールにおいてはドロー表の順番とする。次のホール以降はチームスコアの良いチームがオナー権を持ち、チーム内であれば、任意の打順でプレーすることができる。グリーン上に於いては戦略上、必ずしも遠い球からパッティングしなくてもよい（例：カップに近いパーパットと遠いバーディーパットが残った状況で、パーパットを先にプレーしてからバーディーパットをプレーしてもよい）。
5. プレーヤーが同じチーム内のパートナーからアドバイスを受けることができる。なお、他のチームのプレーヤーにアドバイスを与えたり、あるいはアドバイスを求めた場合には、そのホールに 2 打の罰を付加する。
6. 故意に違う方向に打つなど、故意にパートナーの援助となるプレーをした場合、そのホールに 2 打の罰を付加する（フェアプレーの精神）。
7. 正規のラウンドが終了してタイが生じた場合は「マッチングスコアカード方式」→「No.18 ホールらのカウントバック方式」→「委員会によるくじ引き」により順位を決定する。
8. 規則 10.3 は次のように修正される：プレーヤーはラウンド中にキャディーを使用してはならない。
9. 競技の条件やローカルルールに追加・変更があるときは、スターティングホールのティイングエリア付近に掲示し告知する。
10. 決勝大会に出場するチームは予選競技に参加した選手 2 名とし、選手の変更はできない。また、参加カテゴリーについても予選と同様とする。女子部門については登録選手 2 名のうち、1 名については変更することができる。ただし、スタート 1 時間前までに登録変更の手続きを終えていなければならない。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ（規則 18.2）

- (a) アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
- (b) アウトオブバウンズに止まったり、そのアウトオブバウンズを超えて止まった球は、他のホールではインバウンズとなるコースの別の部分に止まったとしてもアウトオブバウンズである。

2. ペナルティーエリア（規則 17）

- (a) 片側だけ定められているペナルティーエリアは無限に及ぶ。
- (b) ペナルティーエリアがコースの境界縁に接している場合、そのペナルティーエリアの縁はその境界縁まで及び、その境界縁と一致する。
- (c) ペナルティーエリアの縁がコースの境界（アウトオブバウンズの境界）と一致する地点をプレーヤーの球が最後に横切ってからそのペナルティーエリアの中で見つかるか、そのペナルティーエリアの中に止まったことが分かっている、または事実上確実な場合、ローカルルールひな型 B-2。

1に基づいて反対側の救済を受けることができる。

(e)ペナルティーエリアのためのドロップゾーン

ペナルティーエリアのためのドロップゾーンが設置される場合、1打の罰に基づく救済の追加の選択肢となる。ドロップゾーンは救済エリアであり、球はその救済エリアにドロップされ、その救済エリアに止まらなければならない。

3. 異常なコース状態（動かさない障害物を含む）（規則16）

(a)修理地

- 1) 白線で囲まれ青杭で標示してある区域
- 2) 張芝の継ぎ目；ローカルルールひな型F-7を適用する。
- 3) パッティンググリーン上、あるいはフェアウェイの長さかそれ以下に刈ったジェネラルエリアの部分にあるヤーデージ用にペイントされた線や点は修理地として扱われ、規則16.1に基づく救済を受けることができる。ヤーデージ用のペイントがプレーヤーのスタンスにだけ障害となる場合、障害は存在しない。

(b)動かさない障害物

- 1) 白線の区域と動かさない障害物がつながられている場合、一つの異常なコース状態として扱われる。
- 2) 動かさない障害物で囲まれている庭園区域とその中で生長しているすべての物は、一つの異常なコース状態として扱われる。
- 3) ウッドチップやマルチ（木屑）などを表面に敷いた道路や通路。ウッドチップやマルチ（木屑）などの個体はルースインペディメントである。
- 4) U字排水溝はジェネラルエリアの一部として扱われ、ペナルティーエリアではない（例外：ペナルティーエリアとしてマーキングされている区域の中にあるU字排水溝）。
- 5) 人工の表面を持つ道路に隣接しているU字排水溝はその道路の一部として扱う。

4. 不可分な物

次の物は不可分な物であり、罰なしの救済は認められない：

- (a)樹木や他の常設物に密着させてあるワイヤ、ケーブル、巻物。
- (b)ペナルティーエリア内にある人工的な護岸やパイリング（枕木等の構築物）。

5. クラブと球の規格

- (a)適合ドライバーヘッドリスト：ローカルルールひな型G-1を適用する。

このローカルルールに違反するクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格

- (b)適合球リスト：ローカルルールひな型G-3を適用する。

- (c)ストロークを行うとき、プレーヤーはパターを除き46インチの長さを超えるクラブを使ってはならない：ローカルルールひな型G-10を適用する。

このローカルルールに違反するクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格

6. 陰悪な気象状況によるプレーの中断（規則5.7）

次の信号がプレーの中断と再開に使われる：

- | | | |
|--------|---|-------|
| 即時中断 | — | カート無線 |
| 中断 | — | カート無線 |
| プレーの再開 | — | カート無線 |

注意：危険な状況のためにプレーを即時中断する場合、すべての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となることがある。

7. 練習（規則5）

- (a)ラウンド前とラウンドとラウンドの間の練習（規則5.2）

規則5.2bは次の通り修正する。

プレーヤーは、ラウンド前やラウンドとラウンドの間に競技コースで練習をしてはならない。ただし指定練習区域を除く。

- (b)ホールとホールの間の練習（規則5.5b）

規則5.5bを次の通り修正する：

2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

- ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。
- ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。

8. キャディー

プレーヤーのキャディーの使用を禁止したり、要求したり、あるいはキャディーとして使用できる人について制限する場合、各競技の競技規定に掲載される。

9. 参加資格

プレーヤーは各競技の「競技規定」で定められる参加資格の条件を満たしていなければならない。

10. スコアカードの提出（規則 3. 3 b）

プレーヤーのスコアカードは、プレーヤーの両足が所定のスコアリングエリアから出た時点で委員会に提出されたことになる。スコアカードを提出する前にスコアリングエリアを離れる必要のあるプレーヤーはスコアリングオフィシャルにその意思を告げなければならず、そしてすぐに戻らなければならない。

11. タイの決定

タイの決定方法は各競技の競技規定に定められるか、委員会により会場で公表される。

12. 競技の結果 — 競技の終了

本競技は競技委員長の成績発表（掲示）をもって終了する。

13. 競技の成立

本競技の競技者全員が規定のラウンドをホールアウトできなかった場合、委員会は競技成立について別途協議するものとする。

14. 委員会の裁定

委員会はローカルルールを修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

15. 参加の取り消し

委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことがある。

16. 行動規範

プレーヤーはエチケット違反、または非行があった場合には制裁を受けることがある。また、重大な非行があった場合には規則 1. 2 a に基づいて失格とする場合がある。

17. 携帯電話

緊急時以外コース内での携帯電話の通話は禁止する。

追加のローカルルール

本競技において上記ローカルルールに、下記ローカルルールおよび注意事項を追加する。

追加のローカルルールの各番号は、『ローカルルール』の各番号に合わせて記載しているため、確認のこと。

< 3. 異常なコース状態(動かさない障害物を含む) (規則 1 6) に追加 >

(c) 2 本の軌道

電磁誘導カート用の 2 本の人工の表面を持つ軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。球がこのカート道路の上にある場合、プレーヤーは規則 1 6. 1 a に基づく救済を受けなければならない。

< 8. キャディーに追加 >

キャディー(使用禁止)

規則 1 0. 3 a は次のように修正される：プレーヤーはラウンド中にキャディーを使用してはならない。

競技委員長

風間 利夫